



音楽療法とハーモニカ

原爆養護ホーム「神田山やすらぎ園」附属診療所
岡田浩佑

平成24年11月に、広島文化学園大学の大学祭が呉市の阿賀キャンパスであった。そのおりのホーム・カミング・デイにハーモニカについて話をするようにと依頼を受けて、現在勤務している原爆養護ホーム「神田山やすらぎ園」の紹介や私の近況を、「老年看護・老年医学の実践」という題で報告し、同時に学生たちに10本のハーモニカをさしあげて、名人の吹く「荒城の月」をラジカセで聴いて頂き、ハーモニカについて話をした。ハーモニカはポケットに入る持ち運びができる小さな楽器である。なかなか奥が深く、上手な人の吹くのを聴くと、その音楽性・芸術性に感心させられる。老若男女に音楽療法のまねごとを実践するのにまことに適しているということ、パワーポイントを使用して話したが、記録として残さなかったため、改めて園の紹介と、特にハーモニカによる音楽療法のまねごとを記録することにした。

平成24年4月から、長年被爆者の診療に尽力された相坂忠一先生の後任として、「神田山やすらぎ園」の診療所の所長を務めることになった。広島大学医学部のクラスメートであり、また私が診療・研究で共に過ごした鎌田七男先生が理事長をしている広島原爆被爆者援護事業団には、40年前に開設された「舟入むつみ園」という100名収容できる一般養護ホームと、30年前に開設された100名収容できる特別養護ホーム「神田山やすらぎ園」と、20年前に開設された300名収容できる特別養護ホーム「倉掛のぞみ園」の3か所の養護ホームがある。私は50年前に広島大学原爆放射能医学研究所（現在の広島大学放射線医学研究所と名称変更、略称原医研）の臨床第一部門、当時被爆内科と称した現血液内科で医師としてスタートしたので、晩年にまた被爆者のお世話をするのは宿命的と思っている。

「神田山やすらぎ園」の100名の被爆入園者のうち、女性が80名、男性が20名である。平均年齢が86歳、90歳以上の高齢者が42名で、そのうち女性が41名、102歳、101歳、100歳というようにつづき、男性は91歳が最高齢者である。女性はしなやかに生きていくと改めて思う。2階の50名、3階の50名を隔週に交互に回診している。最も長い入園歴のある人は20年の人で、1名亡くなると、すぐ1名入園してくることになり、広島市と広島県原爆対策課が、それぞれ80名、20名の枠をもっており、入園の順番も決められており、私たちは受動的に入園者を迎えることになる。約400名が待機していると聞いているが、鎌田七男先生によると、広島被爆者援護事業団所属の3か所のホーム全体では500名収容できるのに対して、約2,200名の待機者がいるという。

平成24年6月に、この園の30周年記念植樹祭があり、その時に1階ロビーの壁に歴史的な回顧風の写真が張り出されている。それを順番に見て行くと、1982年（昭和57年）岩倉具視の顔がのっている500円札から500円玉に変わった年に、園の開所式があり、広島大学原医研の2代所長であった故志水清先生のご挨拶のシーンがあり、私が「好中球アルカリホスファターゼ」で医学博士号を取得した時の副査であったので、懐かしく思った。1984年（昭和59年）わが広島カープが日本シリーズ3度目の制覇を成し遂げ、古葉竹識名監督の胴上げのシーンがあり、阪急と対戦し4勝3敗であった。この年に原爆死没者慰霊碑参拝が始まり、多くのボランティアの支援で入園者は車椅子姿である。1985年（昭和60年）に地区民生委員、神田山長生園と交流が始まり、盆踊りや餅つき会など毎年行っている。神田山長生園は歴史が古く、

おかだ こうすけ

〒732-0068 広島市東区牛田新町一丁目18番2号 原爆養護ホーム「神田山やすらぎ園」附属診療所

民間の特別養護ホームで私たちの園のすぐ奥にある。次は、1989年（平成元年）昭和から平成と元号が変わり、当時の官房長官故小渕恵三氏が平成の文字を掲げたシーンが続く。1991年（平成3年）名横綱千代の富士が、若き貴乃花に寄り切られたあとの引退の断髪式のシーンがある。1992年（平成4年）兵庫県新温泉町湯村温泉観光協会による「温泉湯の寄贈」が始まり、年に1回今も遠くから温泉の湯を運ぶことを続けて下さっている。私たちのマドンナ、女優の吉永小百合氏が主演のテレビドラマ「夢千代日記」の縁によるもので、この看護学部の学生にもたくさん配った鎌田七男先生の「広島のおばあちゃん」¹⁾という著書には、原爆の詩の朗読でも知られるこの女優さんの推薦の言葉がある。1996年（平成8年）元旦に天皇、美智子皇后両陛下の行幸啓のシーンがあり、1998年若貴兄弟横綱誕生のシーンがつづく。2004年（平成16年）「舟入むつみ園」との交流が始まり、2006年（平成18年）皇太子殿下の行啓のシーンがある。2009年（平成21年）マツダスタジアムが完成、2011年（平成23年）菅直人内閣総理大臣慰問のシーンがあり、また、2011年（平成23年）あの3.11の東日本大震災がある。

平成22年2月22日という、2の字5個並ぶ日に、私の看護学部での最終講義²⁾をさせていただいた。「実践健康環境教育論」の講義について触れ、その中で環境教育の6目標³⁾や環境教育基本法⁴⁾の精神について述べ、原子力発電の軽水炉、高速増殖炉「もんじゅ」⁴⁾や、チェルノブイリ原発事故⁵⁾についても述べた。環境教育に使用した副読本「地球よ、どうしたらこの惑星を救えるか」⁶⁾の中で、原子力発電については「安全性、コスト、廃棄物処理の問題を解決しない限り、原子力に未来がない」と書いてあることも紹介したが、まさかその翌年に東日本大震災で、特に日本の原発が甚大な被害をもたらすとは思わなかった。

2012年（平成24年）30周年記念で、鎌田七男理事長、土井精二園長と私の3人が記念植樹をした時の集合写真が撮ってある。2012年（平成24年）ロンドンオリンピック、2012年（平成24年）東京スカイツリー（634m）で終わり、あとは、むつみ会というボランティアによる毎月の喫茶会や花壇の手入れのお手伝いの行事援助をしていただいているシーン、広島市立商業高等学校の市商デパートに毎年招待されているシーン、中国電力ボランティアグループによる屋内清掃や交流会のシーンがある。

以上壁に張り出されている写真の説明をしたが、この「神田山やすらぎ園」には、多くのお見舞いのお客様が来て下さり、特に毎年8月6日原爆記念日の直前には、広島県知事や広島市長をはじめ多くの方が見えられる。また大阪や長野その他多くの中学校の生徒さんが、平和学習といって来園されて、入園者に歌を唄って下さり、被爆者の証言を聞いて下さる。ただし、最近中学生たちに被爆体験の話のできる入園者が少なくなった。

私は平成25年6月2日に、広島市で開催される第54回原爆後障害研究会に1題報告する予定にしている。それは米国の癌部門にメディカル・オンコロジストを目指して留学して帰国した年の昭和46年から、広島大学原医研血液部門の第2代の教授で、後に京都大学内科の教授になり、日本血液学会の理事長をされた故内野治人先生からのご指示で、広島記念病院の血液疾患コンサルテーションを約40年間続けた時に、長期間経過を観察した患者様についてである。演題のタイトルは「広島で近距離被爆後に長期間を経て白血病を発症した母娘例」⁷⁾であり、3歳で爆心地から0.9kmの屋外で被爆して、70歳で死亡した患者様（娘さんの方）が、なくなる4年前に「もみじの手」⁸⁾という25頁の被爆の記を書かれて、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館に寄贈されたので、医療者の責務として私たち診療側の記録を文書にして残そうとの思いからである。中学生を引率される先生に「もみじの手」のコピーを渡して皆様に読んで頂くようにしている。

「神田山やすらぎ園」の高齢者は、家に戻ることはなく、ほとんど最後の時をこの園で迎える。所長になって4月、5月、6月と深夜に「看取り」のため、駆けつけなければならず、新入医局員で主治医になったときと同様、24時間拘束されているような、携帯電話が鳴るとドキリとする状態だったが、今はだいぶ慣れた。最も御苦労の多い仕事をしているのは介護士である。医師が私1名で、看護師は5名が交替での勤務だが、夜宿直することがなく、約30名の介護士は、毎日2階の50名、3階の50名をそれぞれ2名ずつ夜間の身守りをする。交代で仮眠をとり、実際は1名が50名を見守ることになる。認知症高齢者が多く、改訂長谷川式簡易知機能評価⁹⁾で30点満点の20点を下まわる人を認知症としているが、0点が20名以上で、入園者で20点以上の人は数名にすぎない。夜間のトイレ介助その他、センサーコールが幾度も鳴るので、介護士の業務はほんとうに大変だと思う。

今年に入って、1月26日からテレビで報道されているように、私たち園でも、ノロウイルス感染症とインフルエンザが同時に集団感染して、やっとの思いで終息宣言を出すことができた。前任の相坂忠一先生は、広島市の伝染病患者を一手に扱う市立舟入病院の院長をされ、援護事業団の第4代の理事長と「倉掛のぞみ園」の園長を務められた後、この「神田山やすらぎ園」の診療所所長になられた感染症の専門医なので、感染対策のマニュアルはよくできている。この園には開所以来多くの協力医がいて、月に1ないし2回、来園され、外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、精神科と、専門領域の疾患の診察をされる。したがって私の役割は、回診、定期処方以外は特に症状のある人の診察と必要な検査や臨時処方や注射の指示を出すことである。協力指定病院も「ぎおん牛田病院」と「太田川病院」の2か所がある。

月に1回、医療知識スキルアップ研修があり、高齢者の便秘症、不眠症、糖尿病、貧血などスタッフと一緒に学習している。看護学部では長年「老年者疾病治療論」の講義を担当していたが、教科書的な学習とは異なる実践の場での貴重な体験を積み重ねていただいている。やはりこの園では、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、その両者が重なる認知症などについての学習や、高齢者のめまい、ふらつき、転倒・骨折などが問題となる。転倒しても大腿骨頸部骨折にはならないためのヒップ・プロテクターの活用などが課題となる。

以上この園の紹介をしたが、月に1回の誕生日会にハーモニカを吹いて、入園者に癒し、やすらぎをと努めている。千昌夫の「星影のワルツ」を吹くと、涙を流される人たちがいる。一人娘が遠くの横浜に嫁いで、会えることがないからか、「遠くで祈ろう、幸せを」などの歌の文句があるからかもしれない。認知症でふだんほとんど口を開くことのない高齢者が、「赤とんぼ」を吹くと、4番まで歌詞をしっかり覚えていて大声で歌うのを見ると嬉しくなる。1階の皆が集まるロビーには、昭和62年頃に寄贈された古いエレクトーンがあるので、現在昼休みにエレクトーンの練習をしている。昨年の敬老祝賀会には、「エーデルワイス」を弾き、「赤とんぼ」や「ふるさと」の唄の合唱の伴奏を弾いたが、最近では難曲の「ドナウ川のさざなみ」の練習をしている。

さて私のハーモニカについて振り返ってみる時、中学生の頃からハーモニカを吹いているが、いつどのような経緯でハーモニカを手にしたのか、全く記憶にない。誰にも習うことなく、俗にいう「探り吹き」で聞き知っている歌を吹いていた。私は朝鮮戦争当時、中国の黄河の上流の西安よりも奥の天水から蘭州までの鉄道建設に、父が従事するため、生まれ育った満州大連から移動した。14歳から17歳まで天水の鉄道マンの子弟が入る学校で中国人と肩を並べて、全寮生活をおくった。私が3歳になる前に、生みの母親は33歳で肺結核により死亡し、継母は私が11歳の年に、36歳で腎臓結核により死亡した。継母から小さいころに習った歌をこの奥地でもハーモニカで吹いていた。その頃は、誰にも教えてもらわないのに、ベース奏法や、オクターブ（8音）奏法ができていた。そして昭和28年に帰国した。

10年前にユーキャンの90以上ある通信講座の1つに「ハーモニカ講座」があることを見つけて、1年間の授業料4万8千円を振り込むと、黒いバッグに鈴木楽器のC調、A調、Am（エイ・マイナー）、C#（シー・シャープ）の4本のハーモニカと、日本音楽教育センターのテキストが4冊、入門編、初級編、応用編、レパートリー編と、講師の大石昌美氏が吹き込んだ模範演奏のテープが4個入っていた。ハーモニカの奏法にはいろいろあって、3音、5音、8音（オクターブ）奏法や、マンドリン奏法、バイオリン奏法、ハンドカバー・ヴィブラート奏法などがある。ユーキャンの講座には、分散和音奏法（アルペジオ奏法）は含まれていない。これは柳川優子氏の「複音ハーモニカ入門」¹⁰⁾というDVDで自己学習することになる。柳川優子氏は、「日本ハーモニカ芸術協会」最高顧問の岩崎重昭¹¹⁻¹⁴⁾の愛弟子で、9歳より岩崎氏に師事して1998年にF.I.H.全日本ハーモニカコンテスト・複音ハーモニカ部門で優勝、並びに総合グランプリ受賞している。ハーモニカは半音がだせないのが、2本や3本のハーモニカを使用することになり、これにはついていくことができず、私はユーキャンの講座を1年間貫徹することができなかった。私は一度も直接にお目にかかったことがないが、大石昌美氏と柳川優子氏のお二人が私のハーモニカの師匠と思っている。

ハーモニカについての歴史的なことを記録してある文章¹⁵⁾を、以下に引用してみる。ハーモニカという楽器がいつ頃発明されたかについては諸説がある。その中でも有力な説は1827年、ドイツの1寒村ト

ロンシンゲンの機械職人クリスチャン・メスナー氏が発明したという説である。この説を根拠にして昭和2年7月2日から17日、ドイツで「ハーモニカ百年祭」が開かれた。当時のハーモニカはほとんどが単音（1列）だったが、東洋人としてただ1人、日本から参加した佐藤秀廊先生が持ち込んだ複音（2列）ハーモニカと、日本で創意工夫されたバイオリン奏法やマンドリン奏法などの披露に、人々の注目が集まったという。日本のハーモニカ奏者には、川口章吾氏、宮田東峰氏、春柳振作氏など多くの個性が生まれ、消えていったが、日本の複音ハーモニカの発明者で92歳で逝去された佐藤秀廊先生¹⁶⁻¹⁸⁾の創造した「日本的奏法」は門下生による佐秀会（佐藤秀廊の頭文字をとっている）により伝統の継承がなされている。昭和21年（1946年）に結成されたこの会は営利を目的としないアマチュアのハーモニカ研究団体である。正式には「日本ハーモニカ芸術協会」という。日本には、昭和2年（1927年）に設立された、全国的なハーモニカ演奏家の組織である「全日本ハーモニカ連盟」という団体もある。私は平成24年4月から「日本ハーモニカ芸術協会」の会員になった。

「日本ハーモニカ芸術協会」では、大師範、師範、准師範、研究生、上級、中級、初級と各段階がある。現在CDのついたハーモニカの教本¹⁹⁻²¹⁾や、CD付きのハーモニカ曲集²²⁻²⁴⁾や多くのハーモニカの楽譜（数字譜）²⁵⁻²⁹⁾がある。また、佐藤秀廊先生に師事した大師範の齋藤寿孝氏の吹き込んだCD³⁰⁻³³⁾や、同じく大師範の間中 勲氏のCD³⁴⁾がある。その他多くのCD³⁵⁻³⁷⁾があり、インターネットの動画でも大石昌美氏³⁸⁻⁴⁴⁾の「ラクンパルシータ」や柳川優子氏の「荒城の月」³⁷⁾のハーモニカ演奏を聴くことができる。広島県には大石昌美氏のような大師範や柳川優子氏のような師範はいなくて、准師範が3人いる。その1人は、尾道市在住の広島ハーモニカ・サークル協議会の斉藤久美会長である。平成24年10月14日（日）に、福山県民文化センターで広島ハーモニカ祭が開かれ、私も聴きにいった。午前10時から午後4時まで昼食ぬきで、アンサンブル、デュエット、独奏と、まさに吹きまくりでその熱心さに圧倒された。初めて「日本ハーモニカ芸術協会」の理事長である鉄人の斉藤寿孝氏の生演奏も聴くことができた。残念なのは会場に若い人たちが少ないことで、現在の器楽教育からハーモニカは外され、鍵盤ハーモニカ（ピアノカ）やリコーダーにとって代わられている結果かもしれない。

この園に前記のように、各地の中学生が入園者の慰問の訪問をされる。そのお礼にハーモニカで「浜辺の歌」を吹いたところ、中学生はポカンとしており、そばで聴いていた入園者に、「先生、そんな曲を吹いても、今の若い人たちは知りませんよ」といわれた。

抒情歌の人気曲ベスト20（1万人のアンケートによる）⁴⁵⁾には、「赤とんぼ」、「故郷」、「荒城の月」、「早春賦」、「月の沙漠」、「浜辺の歌」、「川の流れるように」、「花」、「みかんの花咲く丘」、「里の秋」、「青い山脈」、「椰子の実」、「朧月夜」、「影を慕いて」、「あざみの歌」、「夕焼小焼」、「浜千鳥」、「さくら貝の歌」、「琵琶湖周航の歌」、「誰か故郷を想わざる」があり、「浜辺の歌」はその中に入っている。

日本の素晴らしいところは、一応平和が保たれてきたこと、国民皆保険の医療や高等教育を受けられる機会が多いこと、科学の水準も、経済活動もまずまずの状態であることなどである。しかし最も素晴らしいのは、春夏秋冬といった四季に恵まれていること、チベット高原やエベレストが無くならない限り、水蒸気を一杯含んだ風が運んでくるたくさんの雨によって、毎年田植えができること、また、太平洋や日本海に流れ落ちる天からの水を、棚田などで上手に使い、この島に1万年以上も土をはりつけて、水と土と森を後世に残そうとしてきたことであろう。

平成22年2月看護学部における最終講義で資料としてコピーを配布したが、富山和子氏が「水と緑と土を後世に」⁴⁶⁾という若い人たちへの遺言のごときものを書かれている。私は環境科学や環境生態学演習の講義を担当したこともあって注意して読んで同じ思いでいた。

この豊かな四季の恵みのなかで生まれた多くの美しい抒情歌が、若い母親から子供たちへ歌い継がれていないのは誠に残念である。私のような沙漠に近い黄河の上流で、雨もなく川は「黄河」と言うぐらい泳げるようなものではなく、周りの山々を見渡しても緑が無いようなところで生活したものと違って、恵まれた日本の環境ですくすくと育った人々には、日本の良さを深く認識できないのであろうか。

上記のような思いで、一つ詩をつくってみた。

「おねがい」

岡田浩佑作詩・中村久美作曲

- | | |
|--|---|
| <p>一、一万年も これからも
土のまんまで いておくれ
青々とした 島じゅうに
小鳥も虫も
小鳥も虫も 花たちも
みんな緑と 一緒だよ</p> | <p>二、エベレストさん チベットさん
高いまんまで いておくれ
風よ いっぱい 雨水を
運んでおくれ
運んでおくれ どこまでも
田植え稲刈り つづけよう</p> |
| <p>三、水森土に 恵まれて
春夏秋冬 移るたび
美しい歌 母から子へ
唄い継ごう
唄い継ごう いつまでも
素晴らしい国 大好きさ</p> | <p>四、生まれて良かった この国に
そんな思いが どこまでも
とどけと願い 生きものが
声を揃えて
声を揃えて 唄ってる
心の底から 祈ってる</p> |

軍国少年だった小学生の低学年の時に唄っていた「兵隊さんよ ありがとう」の歌と同じつくりにしてある。この歌は朝日新聞が昭和14年「皇軍兵士に感謝の歌」の全国公募をしたときに選ばれた歌の一つである。NHKの朝の連続ドラマ「おひさま」というのがあったが、「太陽のように笑って世界を照らす」という亡き母との約束を胸に、激動の時代を生き抜いていくさわやかな一代記だが、その中で新婚初夜の翌日に夫を軍隊に送りだした陽子（井上真央主演）が、涙をこらえながらオルガンを弾き、子供たちに唄わせるシーンがあったが、「お国のために戦った、傷ついた、戦死した、尽くされた」と4番まである歌であり、私と同年代の者は皆唄える歌である。しかし、替え歌ではつまらないので、広島文化学園大学の学芸学部音楽学科が以前から行っている、生涯学習「音楽園」のエレクトーンの先生に作曲をお願いした。この音楽園の「大人のためのミュージックサロン」というのに、栄養学・生化学の山下洵子先生や呉市保健所所長であった香川治子先生らと「農・食・医同源研究センター」の活動の一環として、お茶とクッキーでの協力をした際に、理事長として挨拶をして、後期高齢者の私のようなものでも何か習えるのかと聞き、エレクトーンを習いはじめた。そのエレクトーンの先生に曲をつけていただくことにした。この音楽園に入園したのはよいが、まさか3月3日の「ひなまつり」の日に、広島市の東区民文化センターで発表会があり、ドレスアップした小さなお子さんたちに混じって、白髪頭を振り振りエレクトーンを弾く羽目になるとは思わなかった。

前記の「日本ハーモニカ芸術協会」は年に数回、会報誌の「口琴芸術」⁴⁷⁾⁴⁸⁾というのを発行しているが、その広報局に「日本の美しい抒情歌とハーモニカ」⁴⁹⁾という題で、現在の私の心境を歌とともに送ってみた。心優しい人たちが多いので、掲載してくださり共感していただけるものと思う。

気がついてみると、最近ハーモニカを吹く機会が増えてきている。広島文化学園大学看護学部の最終講義のあとに、ハーモニカで私の思い出の曲である「埴生の宿」を吹いた。この歌は私の結婚式で、恩師で広島大学原医研の初代所長の渡邊漸先生が東北弁で唄われ、仲人役を務めた私の叔父が広島文理大の英文科の出身なので、英語で「ホーム ホーム スイート スイート ホーム」と唄ったものである。

平成24年3月末で、約40年間行っていた広島記念病院の血液疾患コンサルテーションも、4月から不定期にさせていただいたが、臨床検査室の検査技師たちが、一応の節目だといって送別会を開いて下さり、「浜辺の歌」や「ブルーシャトー」などのハーモニカ曲を吹いた。4月から神田山やすらぎ園附属診療所に勤めるにあたり、その歓迎会で「早春賦」や「知床旅情」などを吹き、園の誕生日会には「赤とんぼ」、「この道」、「星影のワルツ」や、美空ひばりさんの歌の希望が多いので、「愛燦燦」、「港町十三番地」、「川の流れのように」や昔の結婚式の定番であった「ここに幸あり」、「瀬戸の花嫁」を吹いた。次の誕生日会には滝廉太郎作曲の「花」や「北国の春」を吹こうと練習している。

広島大学医学部の学生時代に夏の北アルプスに登り、大雨に遭いテントの中で中腰になりながら唄っ

たことなどを思い出しながら、山岳部OB会で「雪山讃歌」や「山男の歌」を吹き皆で合唱した。喜寿を迎えた高校の同期会などで合唱するには、やはり「故郷」や「知床旅情」が最適だと思い吹いている。

鎌田七男先生が日本放送文化賞を受賞された時の、被爆者援護事業団の理事長である先生の祝賀会には、広大原医研の社会疫学部門で、原爆の中心地の復元図などで活躍された湯崎稔先生の御子息で、現在広島県知事をされている湯崎英彦氏も一緒に、「いつでも夢を」の歌をハーモニカの伴奏で合唱して頂いた。昭和37年に、吉永小百合氏と橋幸夫氏のデュエットで、「星よりひそかに、雨よりやさしく」の歌い文句で始まるこの歌は、その年の年末のレコード大賞でグランプリを獲得したもので、前記のように、鎌田七男先生の「広島のおばあちゃん」の本には、吉永小百合氏の推薦の言葉がある。

私が在籍した看護学部の学生たちが、毎年4年後期に看護研究の発表をしている。案内状を頂くので聴きに行くと、「足浴とリラクゼーション」、「音楽療法とリラクゼーション」などの題があり、後者では「バッハのG線上のアリア」を聴いた際に、唾液のアミラーゼの量を測定し、交感神経と副交感神経のバランスがどうなるかといった研究をしていた。リラクゼーションの方法には多くの種類があるが、音楽も確かに癒しの効果をもたらすことができると思う。

入園者に理学療法の一つとしてホット・パックを行うことがある。この時に大きなテレビの画面に、花のつぼみが開いていくシーンやきれいな風景などを映し出しながら、ヒーリング・ミュージックとして「モーツァルトのアイネ・クライネ・ナハトムジーク」、「リストの愛の夢」、「マスネのタイスの瞑想曲」、「ドビュッシーの月の光」、「バッハのG線上のアリア」、「ショパンの別れの曲」、「ショパンの夜想曲」、「ベートーヴェンのロマンス」、「ホルストのジュピター」などを次々に聴くDVDがある。入園者にはこのようなクラシック音楽も好評のようである。

「健康環境教育論演習」で体育の先生の代わりをして、体育館でバレー、バスケット、バドミントン、卓球など学生の相手をした。また15名ずついくつかの組に分けて、長縄とびに挑戦させたことがある。85回も連続跳びをするのを見て、疲れを知らない若者たちに感心させられたことがある。阿賀キャンパスには、当時呉短期大学もあり、広島の国体のマスゲームを指導された体育の東風上薫（こちがみかおる）先生がいた。リラクゼーションを専門に研究されていると聞き一度実演していただいた。トランポピックス（1人用のトランポリン）でひとしきり跳びはねさせた後に、体育館の床の上に寝転ばせ、喜多郎の「オアシス OASIS」の音楽を聞かせると、学生たちが気持ちよさそうに眠るのを見た。このような音楽も癒しの音楽といえるであろう。

神田山やすらぎ園の入園者は、アンケートをとると美空ひばりさんの歌や「憧れのハワイ航路」、「一円玉の旅がらす」、「きよしのズンドコ節」のほか、演歌が好きで「奥飛騨慕情」といった私がハーモニカで吹けないような曲があがってくる。現在、この入園者のアンケートに基づき、既存の歌詞集⁵⁰⁾⁵¹⁾から抜粋し、入園者用の歌詞集、第一集（抒情歌中心）、第二集（童謡中心）、第三集（演歌中心）、第四集（若い歌中心）を作っている。誕生日会には、2曲か3曲季節に合うものを選び、高齢者が見えるように歌詞を拡大コピーしたカラフルなカードを配り、ハーモニカの伴奏をしながら大きな声で合唱して頂いている。

次の誕生日会にはどのような曲にしようかと、ハーモニカの練習をするのは、自分自身の日常生活に張りをもたらしてくれている。ハーモニカを吹いたり、エレクトーンを弾いたりしながら、歌曲、童謡、歌謡曲、演歌、外国曲、唱歌などに対する高齢被爆者の反応を探りながら、今後とも音楽療法⁵²⁾のまねごとを続けていこうと思っている。

引用文献並びにハーモニカのCD（岡田浩佑所蔵）（発行年のないものは記載がない）

- 1) 鎌田七男：広島のおばあちゃん—過去，現在，未来，平和学習一中・高校生，社会人向け，2005
- 2) 岡田浩佑：私と教育と診療と研究，看護学統合研究，Vol.12，No.1，1-23，2010
- 3) 岡田浩佑：環境問題と評価能力，青少年に送る言葉，わが人生論，文教図書出版，152，1996
- 4) 小林圭二：高速増殖炉もんじゅ，巨大核技術の夢と現実，七つ森書館，1994
- 5) 藏本淳：被爆者医療の国際協力，共済医報，80-88，1993

- 6) ウイル・スティガー, ジョン・パウアマスター, 地球よ どうしたらこの惑星を救えるか? (訳本), オーネット株式会社, 1992
- 7) 岡田浩佑: 広島で近距離被爆後に長期間を経て白血病を発症した母娘例, 第54回原爆後障害研究会, 2013, 6月
- 8) 松井美津江: 被爆の記「もみじの手」2008 (広島原爆平和祈念館図書館に寄贈)
- 9) 加藤伸司, 長谷川和男他: 改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R) の作成, 老年精神医学雑誌, 2: 1339-1347, 1991
- 10) 柳川優子: 複音ハーモニカ入門, アスト・インターナショナル (DVD)
- 11) 岩崎重昭: 改訂版 ハーモニカ入門, 全音楽譜出版社, 1997
- 12) 岩崎重昭: ハーモニカ編曲集1, 全日本ハーモニカ連盟, 1986
- 13) 岩崎重昭: ハーモニカ編曲集2, 全日本ハーモニカ連盟, 1995 (以上には, それぞれに対応する岩崎重昭氏の演奏によるCDがある)
- 14) 岩崎重昭先生による「日本的奏法」秘伝, 日本ハーモニカ芸術協会, 2010 (DVD)
- 15) 斎藤寿孝編: 佐藤秀廊: 編曲「ハーモニカ奏匠塾」改編, ~ハーモニカの芸術~, 佐藤秀廊ハーモニカ独奏曲撰集, とくべつ付録, 巷談・佐藤秀廊伝, kmp, 2008
- 16) 佐藤秀廊: ハーモニカ独奏曲集, 第一集, kmp, 2011
- 17) 佐藤秀廊: ハーモニカ独奏曲集, 第二集, kmp, 2011
- 18) 佐藤秀廊: ハーモニカ独奏曲集, 第三集, kmp, 2011
- 19) 斎藤寿孝: 新版標準ハーモニカ教本1, 入門・初級編, 全音楽譜出版社, 1990
- 20) 斎藤寿孝: 新版標準ハーモニカ教本2, 中級・上級編, 全音楽譜出版社, 2002
- 21) 斎藤寿孝: 新版標準ハーモニカ教本3, アンサンブル編 (改訂版), 全音楽譜出版社, 1999 (これらの教本には対応するCDあり]
- 22) 複音ハーモニカ, スタンダード曲集1, (楠光恵 につぼん昔ばなし等44曲), 鈴木音楽産業 (CDあり)
- 23) 複音ハーモニカ, スタンダード曲集2, (村尾光恵 どこかで春が等36曲), 鈴木音楽産業 (CDあり)
- 24) 複音ハーモニカ, スタンダード曲集3 (柳川優子 アメイジング・グレイス等29曲), 鈴木音楽産業 (CDあり)
- 25) 佐藤 昭編/斎藤寿孝監修: ハーモニカ演歌の帝王, 佐藤 昭, ハーモニカ演歌愛奏曲集, 全音楽譜出版社 (CD付き)
- 26) やさしく吹けるハーモニカ, 文部省唱歌・童謡集, kmp, 2009
- 27) 大人のハーモニカ, 一本で楽しむ やさしいハーモニカ1, 我が心の名曲集, やさしい編曲, タイムリーミュージック, 2010
- 28) 大人のハーモニカ, Amで楽しむ やさしいハーモニカ1, 我が心の名曲集, やさしい編曲, タイムリーミュージック
- 29) 野沢八政編曲: 複音ハーモニカで吹く, ロマン最新歌謡曲集, オンキョウ, 2011
- 30) 斎藤寿孝: ハーモニカの芸術 (佐藤秀廊ハーモニカ独奏曲撰集I, (カリンカ等20曲) (CD)
- 31) 斎藤寿孝: 同上2, (ヴォルガの舟唄等20曲) (CD)
- 32) 斎藤寿孝: ハーモニカ・イリュージョン, (CD)
 1. 永遠のハーモニカ (地上の星等10曲), 2003
 2. 情熱のハーモニカ (ベサメ・ムーチョ等10曲), 2003
 3. 青春のハーモニカ (学生時代等10曲), 2004
 4. 銀幕のハーモニカ (タイタニック等10曲), 2004
 5. 華燭のハーモニカ (乾杯等10曲), 2004
 6. 純愛のハーモニカ (「冬のソナタより」等10曲), 2004
 7. 不滅のハーモニカ (さくら等10曲), 2005
 8. 黄昏のハーモニカ (神田川等10曲), 2006

9. 抒情のハーモニカ (荒城の月等10曲) (廃盤, 手元になし)
 10. 栄光のハーモニカ (ジュピター等10曲), 2006
- 33) 斎藤寿孝: ハーモニカで綴る昭和歌謡史 (カチューシャの唄等15曲), (CD)
 34) 間中 勘: ハーモニカ独奏曲集 (「荒城の月」恩師故佐藤秀廊先生に捧ぐ), (CD)
 Vol.1. (荒城の月等24曲), 2001
 Vol.2. (雪の降る街を等24曲), 2001
 Vol.3. (オオ・ソレ・ミオ等24曲), 2001
 Vol.5. (村の娘等24曲), 2001
 Vol.6. (さくらのワルツ等22曲), 2001
 (これらのCDは, 文献14, 15, 16の演奏)
- 35) 早川真琴: 郷愁の想い, ハーモニカ ベスト・セレクション (荒城の月等14曲), 2002 (CD)
 36) 柳川優子: PRESENCEハンガリアン・ラブソディー, (愛の夢 E.リスト等12曲) (CD)
 37) 柳川優子: NOSTALGIA (荒城の月変奏曲等15曲), 2009 (CD)
 38) 大石昌美: わたしも吹けるハーモニカ, 編曲・演奏, kmp, 2003
 39) 大石昌美編: 大石昌美ハーモニカ選集, 美空ひばり編, 全音楽譜出版社, 2005
 40) 大石昌美: ~青春歌謡集~ハーモニカで綴る, 懐かしの日々, CD 月複音ハーモニカ曲集, kmp, 2006
 41) 大石昌美: やさしく吹けるハーモニカ, 演歌のしらべ改訂版, kmp, 2009
 42) 大石昌美: 日本民謡紀行, 複音ハーモニカ独奏曲集, kmp, 2009
 43) 大石昌美: 情景愛歌, ハーモニカが奏でる, 思い出の情景, CD 付き複音ハーモニカ曲集, kmp, 2009
 44) 大石昌美編: 複音ハーモニカ曲集, 女性が選んだ私が吹きたい曲 Best50, 2009
 45) 喜早 哲監修, 喜早 哲/長田暁二: 「わが心のうた」~抒情歌アンケート・ランキング~, 私の好きなうた, (文献48, 美しき歌 こころの歌, 新・抒情歌ベスト選集, 日本音楽教育センターの附属冊子)
 46) 富山和子: 水と緑と土を後世に, 地球人のエチケットとして, 各界著名人が残す遺言, 21世紀の言葉, 別冊歴史読本17, 第20巻39号, 82, 1995, 新人物往来社
 47) 口琴芸術, 2012春 (190号), 2012, 日本ハーモニカ芸術協会
 48) 口琴芸術, 2012夏, (191号), 2012, 日本ハーモニカ芸術協会
 49) 岡田浩佑: 日本の美しい抒情歌とハーモニカ 口琴芸術, 2013夏, 22, 2013, 日本ハーモニカ芸術協会
 50) 喜早 哲監修, 喜早 哲/長田暁二: 美しき歌, こころの歌新・抒情歌ベスト選集, 歌詞集, 日本音楽教育センター
 ①故郷等20曲 ②荒城の月等20曲 ③椰子の実等19曲 ④赤とんぼ等19曲
 ⑤月の沙漠等19曲 ⑥川の流れるように等19曲 ⑦四季の歌等20曲 ⑧旅愁等20曲
 ⑨ともしび等22曲 ⑩アニ・ローリー等20曲, 計198曲の解説とCD.
- 51) 長田暁二: アコーディオンで綴る美しき愛唱の歌, 唄の扉, ユーキャン
 ①早春賦等24曲 ②春の小川等22曲 ③かあさんの歌等22曲 ④北帰行等24曲
 ⑤赤いサラファン等18曲 ⑥枯葉等20曲 ⑦青い山脈等18曲 ⑧上を向いて歩こう等16曲
 ⑨夜霧よ今夜も有難う等18曲 ⑩川の流れるように等18曲, 計200曲の解説とCD, NHKのど自慢で長年アコーディオンの伴奏をして, 平成24年に逝去された横森良造氏のアコーディオン演奏
 52) 北本福美: 老いのこころと向き合う音楽療法, 音楽之友社, 2011